

奈良工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	アドバンスト・グローバルチャレンジ
科目基礎情報					
科目番号	0013		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	実習		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	システム創成工学専攻（機械制御システムコース）		対象学年	専1	
開設期	集中		週時間数		
教科書/教材	なし				
担当教員	朴 謹英				
到達目標					
英語による国際学会での発表を目標とし、この目標を達成するために必要とされる高度な英語運用能力の獲得を目指すとともに、他者と協働し積極的にディベートを行いながら発表に向けた準備活動を進めることで、英語によるプレゼンテーションの全体的なパフォーマンス向上を目指す。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
英語運用能力	国際学会での発表に不可欠な高度な英語運用能力を身につけている。		国際学会での発表を行いうるある程度の英語運用能力を身につけている。		国際学会での発表に必要な最低限の英語運用能力が身につけていない。
グローバル・コミュニケーション力	英語を使って他者と積極的にディベートを行いながら、協働して作業を行うことができる。		他者と協働して作業を行うために必要なある程度の英語コミュニケーション力が身につけている。		他者と協働して作業を行うために必要な英語コミュニケーション力が十分に身につけていない。
学科の到達目標項目との関係					
JABEE基準 (c) JABEE基準 (d-2a) システム創成工学教育プログラム学習・教育目標 B-1 システム創成工学教育プログラム学習・教育目標 D-1					
教育方法等					
概要	英語による国際学会での発表を行うための準備と基本的なルールについて学習する。また、受講者同士の相互評価を通じて、英語プレゼンテーションのパフォーマンス向上を目指す。				
授業の進め方・方法	国際学会での発表に必要な英語運用能力を向上させるための活動として、英語によるプレゼンテーションとディスカッションを行うプロジェクト型学習と科学技術分野を扱う英文テキストの読解、および英文アブストラクトの作成を行う。 なお、本科目は、「グローバル工学協働教育プログラム」の科目と一部として実施する。				
注意点	国際学会などでの英語での口頭あるいはポスター発表を必ず行う必要がある。				
学修単位の履修上の注意					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	授業全体の計画、目標などについてガイダンスを行う。	
		2週	国際学会発表のルール	英語による国際学会での発表を行うための基本的なルールについて学ぶ。	
		3週	第1回目英語プレゼンテーションの準備	卒業研究について英語でプレゼンテーションを行うための準備をする。	
		4週	プレゼンテーション（1回目）	卒業研究について英語でプレゼンテーションを行う。また、受講者同士の相互評価を通じて課題を発見する。	
		5週	英文アブストラクトの作成①	現在の研究内容について英文のアブストラクトを作成する。	
		6週	英文アブストラクトの作成②	受講者同士でディスカッションを行い、問題点を抽出する。	
		7週	英文アブストラクトの作成③	ディスカッションの内容をもとに加筆・修正を行い、英文アブストラクトを完成させる。	
		8週	第2回目英語プレゼンテーションの準備①	現在の研究内容について英語でプレゼンテーションを行うための準備を行う。	

4thQ	9週	第2回目英語プレゼンテーションの準備②	現在の研究内容について英語でプレゼンテーションを行うための準備をする。
	10週	プレゼンテーション（2回目）	現在の研究内容について英語でプレゼンテーションを行う。また、受講者同士の相互評価を通じて課題を発見する。
	11週	原稿作成①	国際学会発表用の読み原稿を作成する。
	12週	原稿作成②	受講者同士で添削を行い、英語表現について議論し、問題点を抽出する。
	13週	原稿作成③	ディスカッションの内容をふまえ加筆・修正を行い、原稿を完成させる。
	14週	最終プレゼンテーションの準備	アブストラクトと原稿の内容をもとに、最終プレゼンテーションの準備を行う。
	15週	プレゼンテーション（最終）	国際学会での発表リハーサルとして、最終プレゼンテーションを行う。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル
評価割合				
	プレゼンテーション	授業参加・態度	提出物の完成度	合計
総合評価割合	50	30	20	100
基礎的能力	50	30	20	100